

淡窓図書館の利用に関する子どもアンケート集計結果

令和7年1月
日田市立淡窓図書館

1. 調査の目的

本アンケートは、淡窓図書館を地域の情報発信拠点として、より身近で利用しやすい施設にするため、また、図書館に対するイメージやニーズを把握するため、小中学校の児童及び生徒に対し実施したものです。

2. 実施期間

令和6年8月～9月

3. 調査対象・回答率

小学校(4、5年生)、中学校(1、2年生)

計 2,094 名 ➡ 回答者数 1,697 名【回答率 81.0%】

4. 調査方法

タブレットからインターネット(URL)アンケートページにアクセスし、回答を入力

5. 集計結果

Q1. あなたが通っている学校名を選択してください(選択は1つ)

☐ 咸宜小	☐ 桂林小	☐ 日隈小	☐ 若宮小	☐ 三芳小	☐ 高瀬小	☐ 光岡小	☐ 朝日小
☐ 三和小	☐ 有田小	☐ 小野小	☐ 大明小	☐ 石井小	☐ 前津江小	☐ 津江小	☐ 大山小
☐ 東溪小	☐ いつま小	☐ 東部中	☐ 三隈中	☐ 南部中	☐ 北部中	☐ 戸山中	☐ 東有田中
☐ 大明中	☐ 前津江中	☐ 津江中	☐ 大山中	☐ 東溪中	☐ 五馬中		

回答:1,697 件【回答率 81.0%】

Q2. あなたは、この1年間に図書館を利用したことがありますか(選択は1つ)

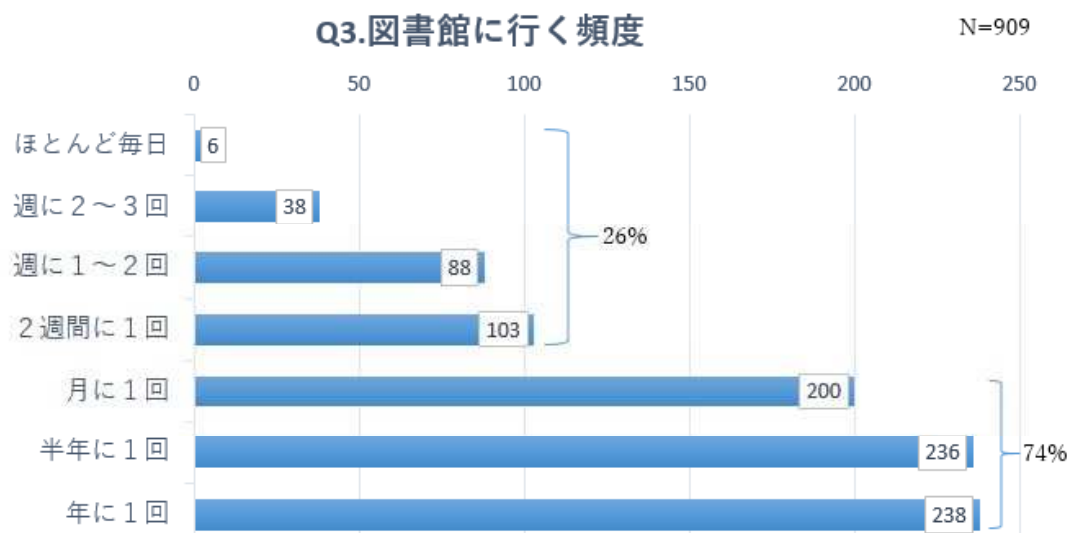
☐ 利用したことがある→Q3.へ
☐ 利用したことは一度もない→Q7.へ



<Q2.考察>

校区外の児童が多いため、利用したことは一度もないが利用したことがあるを上回ると予想されたが、利用していることが多いことが分かった。また、利用したことがない中でも、Q9.意見・要望にはかなり多くの意見・要望があった。

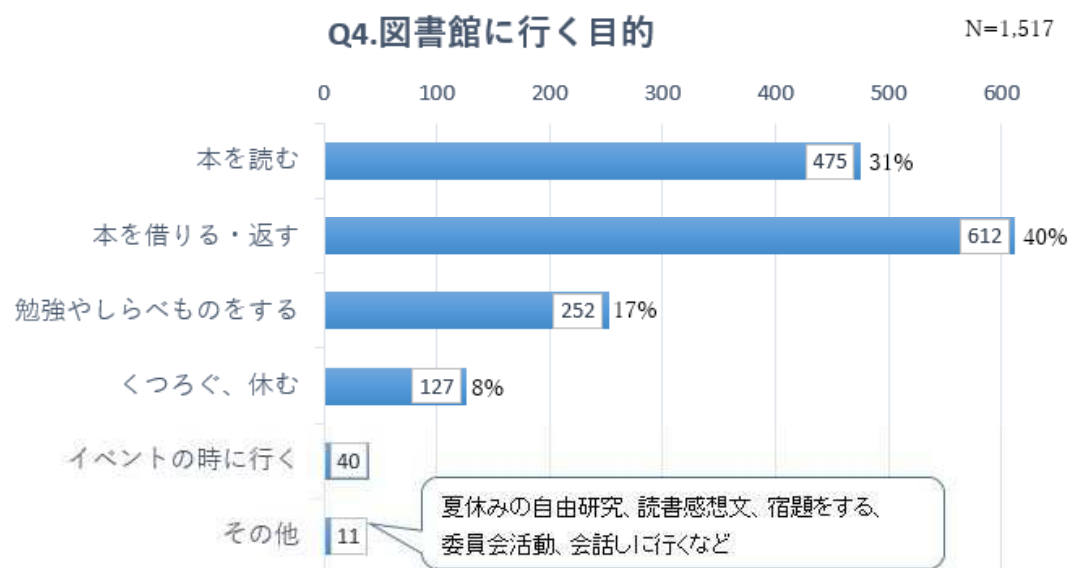
Q3. 図書館にはどのくらい行きますか（選択は1つ）



<Q3.考察>

回答(909件)のうち、月、半年、年に1回と利用頻度の低いのが74%、ほとんど毎日から2週間に1回と利用頻度の高いのは26%であった。

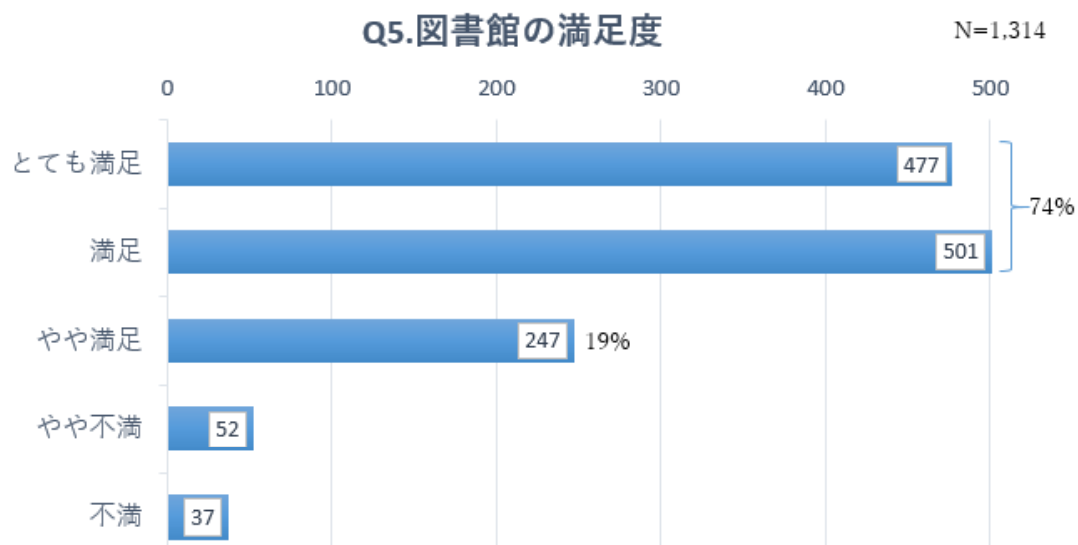
Q4. 図書館に行く目的は何ですか（選択はいくつでも）



<Q4.考察>

本を借りる・返すが40%と最も多く、次いで本を読むが31%、勉強やしらべものをするが17%であった。

Q5. 今の図書館に満足していますか（選択は1つ）



<Q5.考察>

「とても満足」「満足」が74%、「やや満足」が19%あり、9割は満足していることがわかった。

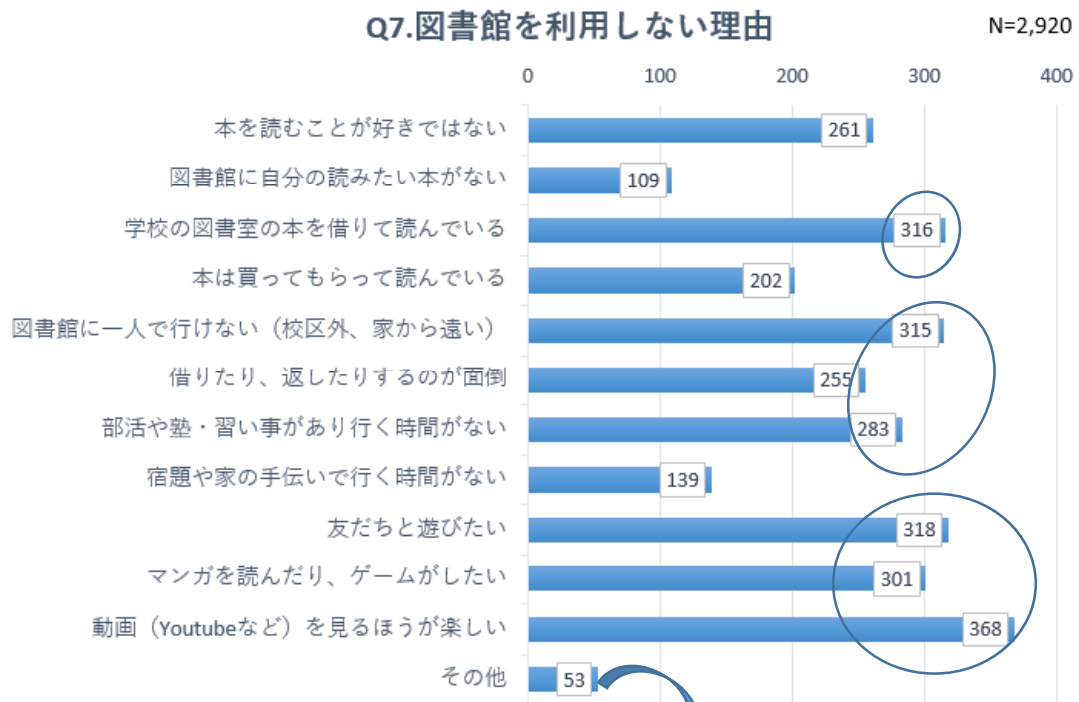
Q6. Q5.で、やや不満または不満と回答した方へお聞きします
不満の理由は何ですか（文字を入力してください）

不満の理由	件数	N=85
行ったことがない	11	
わからない、特になし	10	
読みたい本がない	9	
図書館が遠い	8	
本の場所がわからない、本を見つけにくい	5	
本を読むのが好きではない	5	
静かすぎる	5	
漫画が少ない	5	
楽しくない、面白くない	4	
行かない、めんどくさい	4	
うるさい人がいる	4	
声を出せない	3	
その他（トイレや本が汚い、ゆっくりできない、学習室がせまい、人が多いなど）	12	

<Q6.考察>

「行ったことがない」「わからない、特になし」「読みたい本がない」「図書館が遠い」など、図書館に来たことがない、来れないと思われる不満が約半数を占めている。

Q7. Q2.で、利用したことは一度もないと回答した方へお聞きします
あなたが図書館を利用しない理由は何ですか（選択はいくつでも）

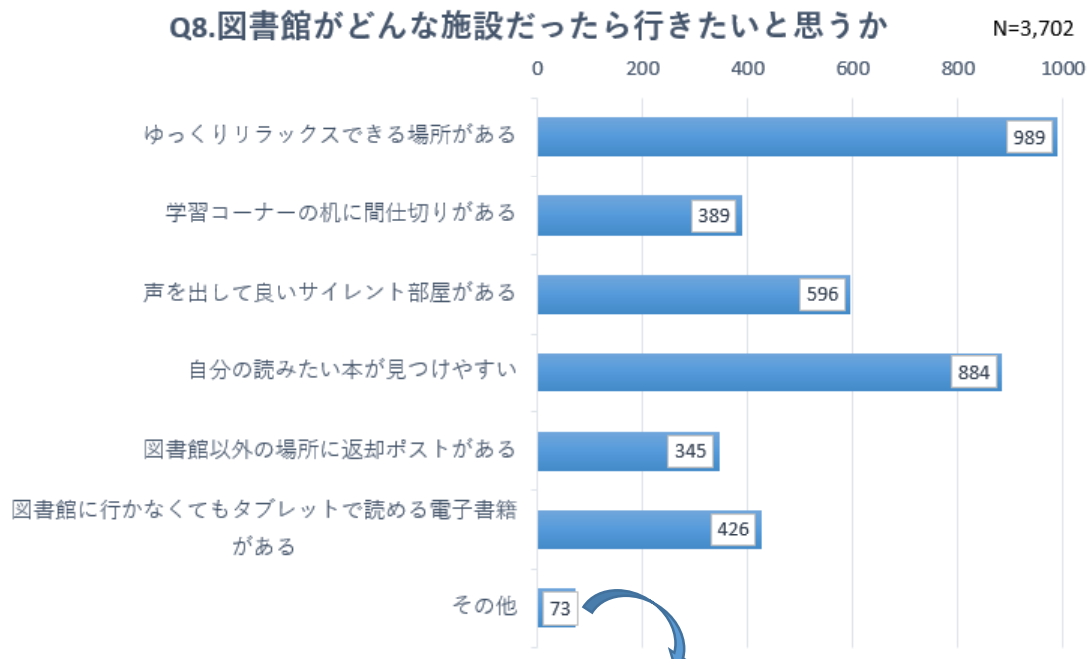


図書館を利用しない理由（その他）	件数
行く時間がない、行けない	12
行く気がない、めんどくさい	10
わからない、特にない	7
図書館が遠い	6
図書館がどこかわからない	4
本屋で買う、スマホで読む	2
借り方がわからない	2
借りようと思わない	2
本が汚い、触るの抵抗がある	2
その他（たくさん人がいる所が嫌い、静かな所が苦手、依然借りたが延滞したなど）	6

<Q7.考察>

「動画（Youtube など）を見るほうが楽しい」が最も多く、次いで「友達と遊びたい」や「マンガを読んだり、ゲームがしたい」など図書館に娯楽がないことや、「図書館に一人で行けない」や「部活や習い事があり行く時間がない」、「学校の図書室で本を借りて読んでいる」などの図書館まで行けない理由が多くなっている。

Q8. 図書館がどんな施設だったら行きたいと思いますか（選択はいくつでも）



どんな施設だったら行きたい（その他）	件数
特にない、わからない	15
ゲームができる、遊べる	10
漫画がたくさんある	8
近くに図書館がある	8
飲み食いができる	5
子ども用机、1人スペース	5
好きな本がある	4
わかりやすい案内板	3
静か、音楽が聴ける	2
その他（会話や声出し可能、開館時間の延長、芝生があるといい）	3
行かない、行きたくない、本が嫌いなど	7

<Q8.考察>

「ゆっくりリラックスできる場所がある」が一番多く、次いで「自分の読みたい本がを見つけやすい」、「声を出して良いサイレント部屋がある」が多く求められている。

また、次の Q9.意見・要望（あなたが望む図書館のイメージ）で出された意見をもとに総括する。

Q9. その他ご意見・ご要望をお聞かせください（あなたが望む図書館のイメージなどを入力してください）

以下、類似の意見を 11 種類に分け※集計した件数（占める割合）と意見例を列挙します。
※同一人が書いた意見をワードごとに分けた（例：静かで、楽しい図書館、遊べる場所がある⇒
「静かで快適な環境」、「楽しさやワクワク感」、「利便性や設備の充実」
総合計：1, 8 4 4 件

【第 1 位】「楽しさやワクワク感」

- ・ 内容：楽しさや行きたいと思う図書館を求める意見
- ・ 件数：3 7 7 件（2 0. 4 %）
- ・ 例：「楽しい」、「ワクワクする」、「面白い」、「行きたいと思う」

【第 2 位】「静かで快適な環境」

- ・ 内容：静かで落ち着ける環境を求める意見
- ・ 件数：3 1 4 件（1 7. 0 %）
- ・ 例：「静かな図書館がいい」、「落ち着ける」、「心が安らぐ」、「くつろげる」

【第 3 位】「利便性や設備の充実」

- ・ 内容：利便性や設備の充実を求める意見
- ・ 件数：3 0 4 件（1 6. 5 %）
- ・ 例：「本が見つけやすい」、「飲食できる」、「個室がある」、「遊べる場所がある」

【第 4 位】「図書の種類や数の充実」

- ・ 内容：本の種類や量を増やすことを求める意見
- ・ 件数：2 1 3 件（1 1. 6 %）
- ・ 例：「本の種類を増やしてほしい」、「読みたい本を揃えてほしい」

【第 5 位】「現状満足（特にない等）」

- ・ 内容：現状に満足している、特に要望がない意見
- ・ 件数：1 4 9 件（8. 1 %）
- ・ 例：「特にない」、「今のままでよい」、「満足しています」

【第 6 位】「会話や声出し可能」

- ・ 内容：会話や声出しが可能なスペースを求める意見
- ・ 件数：1 1 6 件（6. 3 %）
- ・ 例：「友達と喋れるスペース」、「騒いでもいい部屋」、「音楽が流れる図書館」

【第7位】「リラックスできる空間」

- ・ 内容： リラックスできる空間を求める意見
- ・ 件数： 114件（6.2%）
- ・ 例：「リラックスできる図書館がいい」、「ソファが欲しい」、「休める」、「広い」

【第8位】「漫画やゲームの充実」

- ・ 内容： 漫画の量を増やすことやゲーム・動画を求める意見
- ・ 件数： 64件（3.5%）
- ・ 例：「漫画を増やしてほしい」、「ゲームができる」、「動画が見られる」

【第9位】「アクセス・立地」

- ・ 内容： アクセスの改善や近隣での利用を求める意見
- ・ 件数： 41件（2.2%）
- ・ 例：「家の近くに図書館が欲しい」、「移動図書館を作してほしい」

【第10位】「電子書籍・デジタル化」

- ・ 内容： 電子書籍やタブレット導入などを求める意見
- ・ 件数： 21件（1.1%）
- ・ 例：「電子書籍が利用できるようにしてほしい」、「タブレットで本が読める仕組みが欲しい」

【第11位】「イベントや企画の充実」

- ・ 内容： イベントや季節企画を求める意見
- ・ 件数： 20件（1.1%）
- ・ 例：「イベントが多い図書館がいい」、「季節ごとの催しがあれば良い」、「楽しい企画」

【順位から除く】その他諸々少数意見

- ・ 内容： 個人的な現在の感想や要望など
- ・ 件数： 111件（6.0%）
- ・ 例：「今の図書館は静か」、「今度行ってみたい」、「行ったことがない」、「サイトをわかりやすく」

子どもアンケート結果＜総括＞

アンケートの結果、子どもたちが求めている図書館のイメージを、以下のとおりまとめます。

◆静かでリラックスできる空間

- ・ 静かなエリア：集中して読書や勉強ができる静か落ち着く場所。
- ・ リラックスできる空間：ソファがあり、休める場所でリラックスできる環境。

◆利便性と設備や機能の充実

- ・ 書架の充実：本が見つけやすい、分類がわかりやすい書架
- ・ 飲食スペース：軽食や飲み物を楽しめる空間
- ・ 交流スペース：大きな声を出して話をしてもいい、交流できる場所
- ・ フリースペース：長時間の読書や勉強に適した1人用の椅子や机のある場所
- ・ 娯楽スペース：楽しめる・遊べる（マンガ・ゲーム、動画見れるなど）場所
- ・ Wi-Fi と電源設備：タブレット（電子書籍）やパソコン使用に対応した設備
- ・ 利用者への対応：小児専用部屋（サイレント部屋）

◆図書の種類や数の充実

- ・ 新たなコンテンツ：漫画を増やす！？、ゲームもできる！？、動画も見れる！？
- ・ 図書の充実：本の種類を増やす、読みたい本が必ずある種類の豊富さ

◆楽しい、ワクワクする場所

- ・ 楽しい場所：いつでも行きたくなる、ワクワクする場所
- ・ イベント：定期的、季節ごと

図書館に求めていることは

- ・ 静かさと騒がしさのバランスが取れた場所
- ・ 子どもたちの学びや好奇心を育む場所（読みたい本や漫画、ゲーム、動画、電子書籍などがある）

以上が網羅され、楽しくてワクワクする図書館に行きたくなるのではなかろうか

これからの図書館は、単に本を借りる場所ではなく、多機能な設備を有することで図書館に来たことがない人々も集い、学び、楽しむことができる、知識や創造性を豊かにし、かつ、コミュニケーションが生まれる場所となることが求められているのではないのでしょうか。